



明治大学リバティアカデミー

女性のためのスマートキャリアプログラム

～女性の仕事復帰・キャリアアップを支援～

明治大学商学部教授

小川 智由

明治大学リバティアカデミー
『女性のためのスマートキャリアプログラム』
～女性の仕事復帰・キャリアアップを支援～

第106回労働政策フォーラム
「女性のキャリア形成を考える」
—就業形態・継続就業をめぐる課題—

2019・11・5

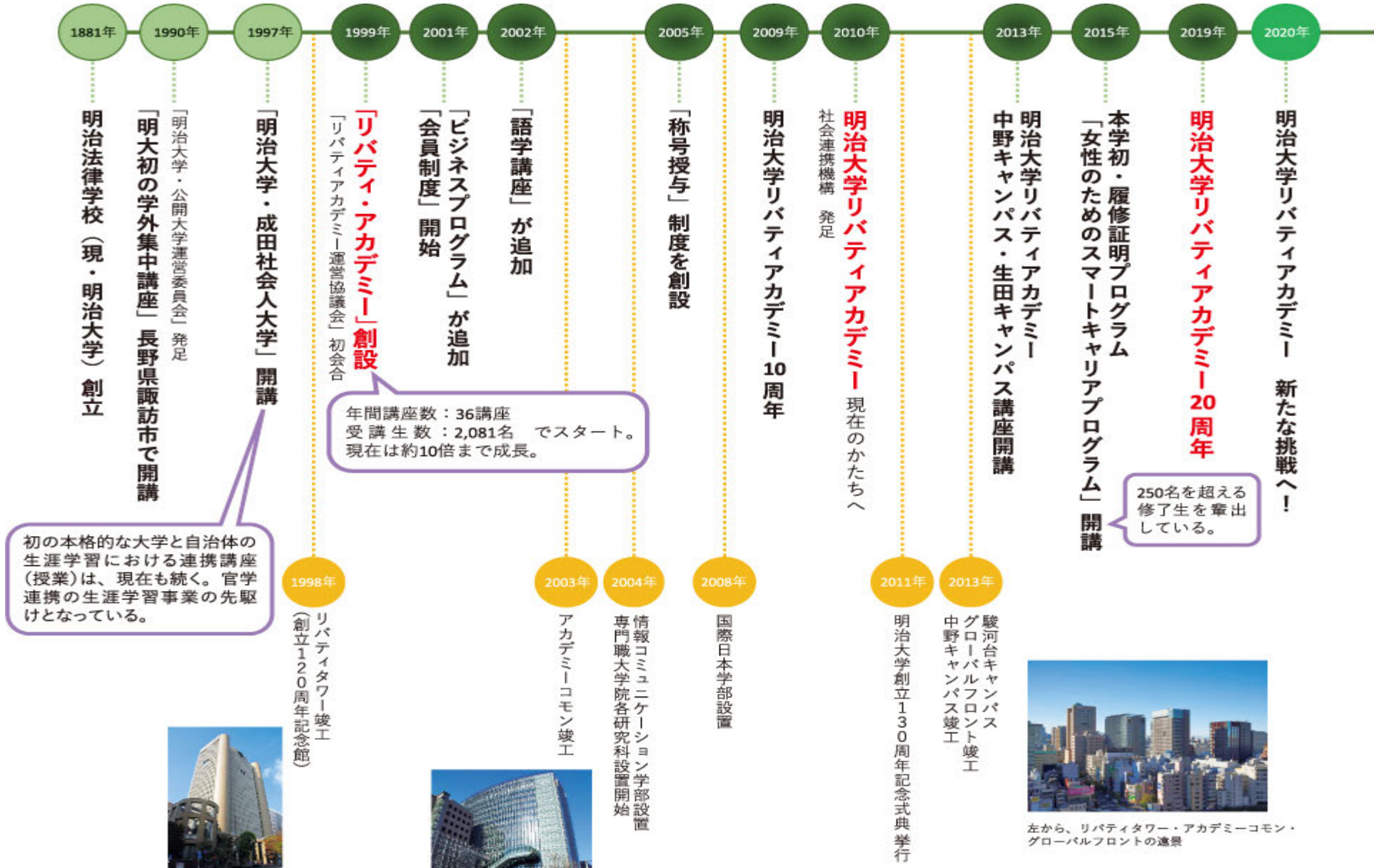
明治大学 商学部 教授
小川 智由



- 明治大学の生涯学習拠点、春期と秋期の年2回開講
- 個人会員、法人会員制度による公開講座方式での運営
- 明治大学の専任教員が講師、もしくはコーディネータに
- 10年間にわたる活動後、1999年に創設、本年が20周年
- 年間延べ400講座を開講、毎年約25,000人の受講生
- 柱となる3分野
教養・文化； 資格・実務・語学； ビジネス
- 各講座の回数は、半期で6～8回のものが多い
1回の授業時間は、90～120分



リバティアカデミーのあゆみ



- 明治大学で最初の「履修証明制度」活用による講座として
 - リバティアカデミーのビジネスプログラムとして企画することに
- 厚生労働省の求職者向け大学委託訓練講座の実績から
 - 2001年度からほぼ10年間にわたり、継続して実施
 - 次第に、講座受講生の8割以上が女性にという状況に
- 女性の再就職支援のための講座として企画
 - スキル習得より、マネジメントやリーダーシップなどの科目を主体に
- 半年間の在籍、正味4か月で120時間以上の学習時間
 - 2015年春期 から、同プログラムがスタート
 - 昼の時間帯、10時半～12時・1時～2時半の授業時間に
 - 同年秋期 には、働きながら学べる、夜間・土曜コースも開設



最新の募集要項から (昼間コース・夜間土曜コース)

| | |
|-----------|--|
| 応募資格 | ①大学または短期大学を卒業し、就業経験のある女性。 もしくは ②就業経験のある女性で、個別の入学資格審査により、大学または短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、2019年4月1日時点で満22歳以上の者。 |
| 定員・会場 | 40名・明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン |
| 履修期間 | 6ヶ月 (2019年10月入校～2020年3月修了) |
| 講義時間 | 1時限目10:30～12:00、2時限目13:00～14:30 (1日2コマ) ※1講義90分×2コマの授業及び試験 (レポート課題等を含む) |
| 検定料 | 3,000円 (税込) 注) 一度ご提出いただいた出願書類及び納入された検定料は理由の如何に拘らず返還いたしませんのであらかじめご了承ください。 |
| 受講料 | 128,000円 (税込) ※明治大学カード会員のみ受講料を10%割引いたします。 明治大学カードホームページ: http://www.meiji.ac.jp/mcard/outline/mcard01.html *教育訓練給付金制度 (専門実践教育訓練) により最大70%の給付金が支給されます。 当プログラムを修了された方のうち、一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者、または、一般被保険者であった方は、受講料の一定の割合額が「専門実践教育訓練給付金」としてハローワークより支給されます。受講者が支払った教育訓練経費の最大70%の支給となります。 専門実践教育訓練給付金の受給資格者のうち、条件を満たした方が失業状態にある場合に、訓練受講をさらに支援するため、雇用保険の基本手当の半額に相当する額をハローワークから支給する制度として「教育訓練支援給付金制度」があります。 [厚生労働省] http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html |
| 出願期間 | 2019年8月1日 (木)～8月19日 (月) 消印有効 |
| 出願方法 | 出願書類 (1)・(2)・(3) をリバティアカデミー事務局まで 簡易書留 で送付。 (1) 履修申込書 (所定書式) (2) 最終学歴を証明する各種証明書 (3) 履修科目登録申請書 (所定書式) ※各種証明書につきましては原本のご提出をお願いいたします。旧姓の方は、戸籍抄本を添付してください。 |
| 選考方法 | 書類選考、面接 |
| 入校試験 (面接) | 2019年9月5日 (木)～9月8日 (日) 10時～13時 (予定) ※所要時間は20分程度です。会場: 明治大学駿河台キャンパス ※履修申込書に、面接試験の日程を第3希望日までご記入ください。 |
| 合否通知 | 2019年9月20日 (金) 発送予定 |
| 入校手続 | 受講料の納入期限: 2019年9月27日 (金) (銀行等受付印有効) ※詳細は別途ご案内いたします。 |
| 入校式 | 2019年10月5日 (土) 10時半～12時 (予定) 会場: 明治大学駿河台キャンパス ※続いて履修ガイダンスを行います。 |
| 修了要件 | 必修科目: 5科目 72時間 / 選択科目: 4科目 48時間以上 合計120時間以上の履修及び修了認定 |
| 修了式 | 2020年3月21日 (土) ※修了証 (履修証明書) を交付いたします。 |



| | |
|-----------|--|
| 応募資格 | ①大学または短期大学を卒業し、就業経験のある女性。 もしくは ②就業経験のある女性で、個別の入学資格審査により、大学または短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、2019年4月1日時点で満22歳以上の者。 |
| 定員・会場 | 30名・明治大学駿河台キャンパス |
| 受講期間 | 6ヶ月 (2019年10月入校～2020年3月修了) |
| 講義時間 | 平日夜間または土曜日 ※1講義90分もしくは120分の授業及び試験 (レポート課題等を含む) |
| 検定料 | 3,000円 (税込) 注) 一度ご提出いただいた出願書類及び納入された検定料は理由の如何に拘らず返還いたしませんのであらかじめご了承ください。 |
| 受講料 | 158,000円 (税込) ※明治大学カード会員のみ受講料を10%割引いたします。 明治大学カードホームページ: http://www.meiji.ac.jp/mcard/outline/mcard01.html *教育訓練給付金制度 (専門実践教育訓練) により最大70%の給付金が支給されます。 当プログラムを修了された方のうち、一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者、または、一般被保険者であった方は、受講料の一定の割合額が「専門実践教育訓練給付金」としてハローワークより支給されます。受講者が支払った教育訓練経費の最大70%の支給となります。 専門実践教育訓練給付金の受給資格者のうち、条件を満たした方が失業状態にある場合に、訓練受講をさらに支援するため、雇用保険の基本手当の半額に相当する額をハローワークから支給する制度として「教育訓練支援給付金制度」があります。 [厚生労働省] http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html |
| 出願期間 | 2019年8月1日 (木)～8月19日 (月) 消印有効 |
| 出願方法 | 出願書類 (1)・(2)・(3) をリバティアカデミー事務局まで 簡易書留 で送付。 (1) 履修申込書 (所定書式) (2) 最終学歴を証明する各種証明書 (3) 履修科目登録申請書 (所定書式) ※各種証明書につきましては原本のご提出をお願いいたします。旧姓の方は、戸籍抄本を添付してください。 |
| 選考方法 | 書類選考、面接 |
| 入校試験 (面接) | 2019年9月5日 (木)～9月8日 (日) 10時～13時 (予定) ※所要時間は20分程度です。会場: 明治大学駿河台キャンパス ※履修申込書に、面接試験の日程を第3希望日までご記入ください。 |
| 合否通知 | 2019年9月20日 (金) 発送予定 |
| 入校手続 | 受講料の納入期限: 2019年9月27日 (金) (銀行等受付印有効) ※詳細は別途ご案内いたします。 |
| 入校式 | 2019年10月5日 (土) 10時半～12時 (予定) 会場: 明治大学駿河台キャンパス ※続いて履修ガイダンスを行います。 |
| 修了要件 | 必修科目: 5科目 72時間 / 選択科目: 4科目 48時間以上 合計120時間以上の履修及び修了認定 |
| 修了式 | 2020年3月21日 (土) ※修了証 (履修証明書) を交付いたします。 |



- 春期と秋期、年2回開講
- 定員：昼間コース 40人、土曜・夜間コース 30人
 - 当初は昼間コース、最近は夜間・土曜への応募者が増加の傾向
- カリキュラムは、必修科目と選択科目に分類して設置
 - 必修科目 5科目（うち1つは、時間数2科目分のゼミナール）
 - 選択科目 9科目から4科目以上の選択
 - * 必須、選択、いずれもゼミナール以外は、1科目あたり12時間
〈昼間コース 90分×8コマ、夜間・土曜コース 120分×6コマ〉
- 設置科目は、次の3種類から選定
 - ①リバティアカデミーのビジネスプログラム講座から
 - ②商学部の産学連携ワークショップ型授業の応用として
 - ③専門職大学院（MBA）教員が担当する科目



□ 昼間コースと夜間・土曜コースの、必修科目と選択科目

昼間コース

| 修了要件 | | 科目名 |
|------|-------------|---|
| 必修科目 | 5科目 72時間 | マーケティング・コミュニケーション |
| | | 金融・財務リテラシー (家計のリスクマネジメント) (財務諸表の見方・読み方) (為替・株式の基礎知識) |
| | | マーケティング実践 プロジェクトゼミナール |
| | | マネジメント・サロン (女性経営者等による講義、 ビジネスケーススタディ) |
| | | ライフ・キャリアマネジメントI (ビジョン・ロードマップ) |

| | | |
|------|---------------|---|
| 選択科目 | 4科目 48時間以上 | ライフ・キャリアマネジメントII (人生100年時代の実践キャリア メイキング) |
| | | ビジネスコミュニケーションI (行動心理コミュニケーション) |
| | | ビジネスコミュニケーションII (再挑戦のためのキャリアデザイン) |
| | | 実践・財務分析のポイントと 企業価値評価 |
| | | ビジネスプレゼンテーション |
| | | ロジカルシンキング (論理的思考による問題解決・ 意思決定力強化) |
| | | ブランド・マネジメント |
| | | 最高のパフォーマンスを発揮する 自己マネジメント・メソッド (Philosophyction Management Method) |
| | | 情報セキュリティ&リテラシー |

夜間・土曜コース

| 修了要件 | | 科目名 |
|------|-------------|---------------------------------|
| 必修科目 | 5科目 72時間 | 実践・マーケティング 戦略セミナー |
| | | 金融・財務リテラシー |
| | | 実践コンサルティング プロジェクト |
| | | マネジメント・サロン (経営者等による講義) |
| | | ビジョン・ロードマップ (ライフ・キャリアマネジメント) |

| | | |
|-------------------------------|---------------|--|
| 選択科目 | 4科目 48時間以上 | ケースで学ぶ企業分析入門 |
| | | WEBマーケティング実践講座 |
| | | 言葉で人を動かす コミュニケーション術 |
| | | 人を動かすビジネス プレゼンテーション |
| | | 論理的思考による問題解決・ 意思決定力強化講座 (実務に即役立つロジカルシンキング) |
| | | 今求められるビジネススキル としての政治・経済学 |
| | | ブランド・マネジメント |
| | | 最高のパフォーマンスを発揮する 自己マネジメント・メソッド (Philosophyction Management Method) |
| ビジネスパーソンのための ライフステージマネジメント | | |



- **平均年齢 42～43歳（28歳～65歳くらいまで）**
- **大卒で就職、育児や介護、夫の海外転勤などで止む無く離職、状況が変わり、仕事復帰したいという受講動機**
- **出身大学の専門分野は様々、前職でも多彩な実績をもつ**
- **履修修了後の希望としては、下記がほぼ均等に**
 - ◎ **正規・非正規を問わず、すぐにでも仕事復帰をしたい**
 - ◎ **学ぶタイミングは今、就業は子供が少し大きくなってからに**
 - ◎ **起業、または夫や実家のビジネスを本格的に支えたい**
- **受講期間に築く受講生間のネットワークが、生涯の財産に**
 - ◎ **同じ目的、同じ価値観で集まる仲間たちとの貴重な出会い**
 - ◎ **再就職する前に、まさに異業種交流勉強会の成果を先取り**



- **企業からの問い合わせを受けて、昼間コースに加えて開設**
 - 会社でこれだけの科目を独自にパッケージで用意するのは困難
 - 働きながら学べる、夜のプログラムもという人事部からの意向

- **受講生の主な受講動機は**
 - 責任あるポジションに就くことになるので、ビジネスを学び直したい
 - 同じ職場の同僚とは異なる、外部の目からの発想を取り入れたい
 - 自分の次のステージも想定して、そのための自己啓発を

- **学んだ成果の活かし方**
 - 仕事と並行での学びなので講義内容を直ちに業務に反映できる
 - 継続的な学びへの意欲や、ビジネススクールへの正規入学も



□ 仕事復帰を考える受講者にとって

- ・ブランクは不利ではない・・・買手の立場に徹する、貴重な体験
- ・家族にも自立の機会・・・夫や子供もむしろ積極的に家事に協力
- ・主婦の立場でビジネスを学ぶことで家族間の会話も増える結果に

□ 大学としての取組み

- ・仕事復帰を考える受講生への、就業支援の体制づくり
- ・働きながら学ぶ受講生には、さらに継続的な学びの機会を
- ・地方都市など、全国各地での学び直し講座設置の必要性

□ 企業に求められることから

- ・新卒一辺倒の採用への見直しをはかる必要性
- ・社員の学びに対する柔軟な対応・・・時間や費用面も含めて



1. **女性の活躍と、仕事復帰をめざす女性の潜在能力を社会的に有効に活用するという、『世論』の形成を。**
2. **女性にとって「結婚・育児」が「仕事」かは、選択肢ではなくて、どちらも自然に両立されるべき、大切なこと。**
3. **同様に、「学び」と「仕事」にも自然な両立が求められる。学びは学生時代にのみ、就職後は仕事に専念ではなく、学生も大学で社会人としての価値基準を持って学び、一方で、就職後も仕事は続けつつ学ぶことができるという環境や体制づくりが急務。**

